



心房細動の早期発見や、心原性脳塞栓症予防のための体制構築

ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成

社内審査プロセス

1. 背景

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

この医学教育プロジェクト助成は、医療現場において生じているナレッジギャップやプラクティス・ギャップ(医学的・科学的知識はあるけれど、実際の診療や看護などの実践・行動に移せていない、またはその実践・行動が普及していない)や、“クオリティ・ギャップ”(医学的・科学的知識はあり、実際の診療や看護など、実践・行動はしているけれど、良い結果・成果が得られない)を埋めるためのプロジェクト、すなわち、医療従事者の行動を変革するプロジェクトに対し、助成金として支援するものです。

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュール等は、本公募内に掲載しています。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

II. 応募資格

対象国	日本
申請団体要件	<p>以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関 ● 医療系の学会・研究会等 ● 医療系の財団法人・NPO 法人等（疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など） ● 医師会・薬剤師会・歯科医師会 ● その他医学教育を事業としている団体（医学教育情報を提供している出版社など） <p>他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。</p> <p>応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。</p>

III. 公募詳細

公募開始日	2022年4月7日
公募対象疾患	心房細動ならびに心原性脳塞栓症
本公募の目的	<p>本公募は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 医学的・科学的知識を実践にうまく活かしていない ② 医学的・科学的知識を実践に活かしてはいるものの結果や成果が伴わない <p>という状況を改善するため、医療従事者の行動の変容を促すようなプロジェクトを支援するものです。</p> <p>心房細動の早期発見や、心原性脳塞栓症予防のための体制構築への取り組みを支援対象とし、知識の向上そのものではなく、次頁に記載するプロジェクト例のように、知識を実践に移すため、あるいは実践を成果につなげるための体制・仕組み作りを含むプロジェクトとします。</p> <p>したがって、知識習得のみを目的とするような教育プログラムは助成対象になりませんのでご注意ください。</p>

	<p>プロジェクト例:</p> <ul style="list-style-type: none"> 診断されていない心房細動の早期診断・早期治療を実現するための地域連携の体制構築 心房細動の診断率の向上を目的とした医療連携体制の構築やスクリーニング方法の確立と、その普及を推進するプロジェクト 健康診断結果などで心房細動およびその疑いのある患者を専門医受診に導くような医療連携体制を構築するプロジェクト かかりつけ医が心房細動の早期発見や適切な治療を推進できるような地域医療連携の構築 心原性脳塞栓症予防を目的とし、適切な抗凝固療法の推進を目指した体制構築 抗凝固薬の服薬アドヒアランスを改善するような地域ヘルスケアシステムの連携推進プロジェクト <p>[留意点] 介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学研究等の研究を含むプロジェクトは助成対象外です。研究への支援につきましては、弊社ウェブサイト「研究者主導研究への助成」をご確認ください。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。</p> <p>その他の留意事項につきましては、弊社ウェブサイト「公募型医学教育プロジェクトへの助成」をご確認ください。</p>
<p>教育プロジェクトの対象者（受講者）</p>	<p>医師（プライマリケア医）、循環器内科医、血液内科医、内科医、神経内科医、脳神経外科医、腎臓内科医、老年医などの専門医、看護師、薬剤師、または循環器疾患患者のケアに従事する医療専門家</p> <p>* 対象者が「患者のみ」の教育プログラムは、本公募の対象外です。</p>
<p>本公募の助成額</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト 1 件あたりの上限額: 10,000,000 円
<p>締切日等 スケジュール</p>	<p>公募開始日: 2022 年 4 月 7 日 申請締切日: 2022 年 8 月 12 日 審査結果通知: 2022 年 10 月 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。 助成金を使用したプログラムの実行: 2023 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日</p>

<p>申請方法</p>	<p>申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。 www.cybergrants.com/pfizer/QI</p> <p>初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Primary Area of Interest の選択では“CVM – Anti-coagulation (AFIB,VTE)”を選択してください。 ○ “Is this in response to a Request for Proposal (RFP)?” の質問には Yes を選択してください。 ○ Competitive Grant Program Name の選択では、“2022 IM JP: Early Detection of AF and Prevention of Cardiogenic Embolism”を選択してください。 <p>申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、5 ページの「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Full Proposal/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。 <u>* プロジェクト申請書(Full Proposal/Project Description)のみ日本語での記載が可能です。</u></p> <p>システム上の不具合・エラー等が生じた場合は、ページ下部にある“Technical Questions” よりお問い合わせください。</p> <p>注意事項: 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。</p>
<p>お問い合わせ</p>	<p>ファイザー株式会社MEG-J事務局 meg.japan@pfizer.com</p> <p>お問い合わせ際、件名に、今回の公募タイトル「心房細動の早期発見や、心原性脳塞栓症予防のための体制構築」をご記載ください。</p>
<p>助成契約</p>	<p>助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、こちらをクリックしてください。</p> <p>ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。</p>
<p>審査</p>	<p>本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。</p>

その他(注意事項等)

ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。

レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。

Appendix A ≪プロジェクト申請書様式≫

以下様式にてご作成ください。尚、記載は最大で 15 ページとします。フォントは MSP ゴシック、フォントサイズは 11 ポイントでお願いします。

プロジェクトタイトル	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトタイトルを冒頭に記載してください。
プロジェクトの背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。またこの目的が申請団体（施設）の目的とどのように一致するのか説明してください。 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の全体的な目的を列挙してください。 この目的には、対象者に関する記載だけではなく、プロジェクトの実行によって得られるであろう成果についても記載してください。
プロジェクトのニーズ評価	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況（プロジェクト対象者のレベルなど）を記載してください。（定量的なデータの記載が望ましい）。 データの収集に使用されるソースと収集方法について記載してください。 現在のレベルと目標とするレベルとの間にギャップが存在することを判断するために、データを分析した方法を記載してください。 ギャップ分析がまだ実施されていない場合は、この情報を取得するためのプランも含めてください。
プロジェクト対象者 （受講者）	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの主な対象者（受講者）、及びその対象者の数を記載してください。
プロジェクトプラン	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。 プロジェクトに教育イベントが含まれている場合は、そのイベントのトピックと開催形式（セミナー、ワークショップなど）を記載してください。
プロジェクトの画期性	<ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した（もしくは進行中の）プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。
プロジェクトの評価・結果の測定	<ul style="list-style-type: none"> プラクティス・ギャップが解消されたかどうかを、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 判定に使用するデータソース

	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの収集・分析方法 ○ 評価結果とプロジェクトの因果関係を判断する方法 ● プロジェクトの予想結果を“プロジェクト対象者(受講者)”の観点から定量化してください。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの開始日／終了日、及び全体のスケジュールを記載してください。
その他、プロジェクトに関する追加情報	<ul style="list-style-type: none"> ● その他、上記以外の情報があれば、記載してください。
申請団体・プロジェクトメンバー	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請団体(施設)についての詳細を記載してください。 ● プロジェクトメンバーを記載してください。 ● 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。
予算	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本円で入力してください。 ● 予算を見積もる際には、以下の点に留意してください。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 弊社からの助成金は「個人費用(懇親会費等の飲食費用、一般参加者の参加費・交通宿泊費など)」や「プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、カメラ、家具、医療機器など)の購入」、「医薬品の購入」、「テキスト、教科書の購入」、「プロジェクトメンバーの人件費」には使用できません。 ○ 団体(施設)へのオーバーヘッド(間接費用)は、総予算の28%を上限に計上することができます。ただし、この費用を含めることにより、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。 ○ 消費税込みで入力してください。